



第46回全国消防救助技術大会出場について

1. 概要・目的など

平成29年8月23日(水)に宮城県で開催される第46回全国消防救助技術大会に津幡町消防署の山本幸児消防副士長・水野隼斗消防副士長・三國宏貴消防士が石川県代表として「ほふく救出」に出場します。このため、下記の日程で町長へ出場報告を行います。

2. 開催日時・日程

平成29年8月18日(金)午前9時～

3. 場所

津幡町役場 2階 町長室

4. 出席者

消防長	松浦 清市
救急救助係長	松本 武
出場隊員	山本 幸児
	水野 隼斗
	三國 宏貴

5. その他(注意事項など)

第46回全国消防救助技術大会

日 時：平成29年8月23日（水）
場 所：宮城県総合運動公園 グランディ・21
宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1

大会公式HP 【<http://www.46kyujo-taikai.jp/>】



○ほふく救出訓練

《出場隊員》 消防副士長 山本 幸児（30）
消防副士長 水野 隼斗（29）
消 防 士 三國 宏貴（23）

（訓練内容） 標準所要時間 1分2秒

3人（要救助者含む）1チームで、2人が通路（煙道）から10メートル隔てた位置からスタートし、その内1人が空気呼吸器を装着し確保（誘導）ロープを両足首に結索した後、小綱を携行し8メートルの通路（煙道）を検索して要救助者を安全地帯（スタート地点）に搬送するまでの行動過程の安全性、確実性とあわせて所要時間を評価する。

《プログラム》

～陸上の部～

1. 技術訓練1	10:00～10:20
2. ほふく救出（第1組～第13組）	10:20～11:17
3. ロープブリッジ渡過	10:21～10:52
4. ロープブリッジ救出	10:54～11:24
5. 引揚救助	11:25～12:45
6. ロープ応用登はん	11:29～13:00
7. ほふく救出（第14組～第26組）	12:47～13:26
8. はしご登はん	13:04～14:43
9. 障害突破	13:31～15:03
10. 技術訓練2	15:20～15:40



連携

ほふく救出

標準所要時間：1分02秒

3人1組(要救助者を含む)で、1人が空気呼吸器を着装して長さ8メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、二人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練です。

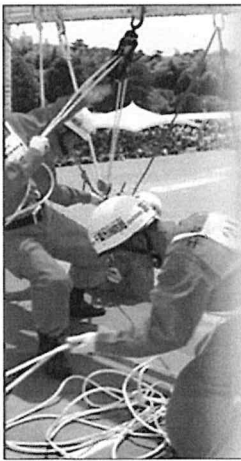


基礎

ロープブリッジ渡過

標準所要時間：28秒

水平に展張された渡過ロープ20メートル(往復40メートル)を、往路はセイラー渡過、復路はモンキー渡過するロープ渡過の基本的な訓練です。



連携

引揚救助

標準所要時間：2分09秒

5人1組(要救助者を含む)で2人が空気呼吸器を着装して塔上から塔下へ降下し、検索後、要救助者を塔下へ搬送し、4人で協力して塔上へ救出した後、ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホール等での災害を想定した訓練です。



基礎

はしご登はん

標準所要時間：24秒

自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを15メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練です。



連携

ロープブリッジ救出

標準所要時間：1分15秒

4人1組(要救助者を含む)で、2人が水平に展張された渡過ロープ(20メートル)により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げてけん引して救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から進入し、救出することを想定。



連携

ロープ応用登はん

標準所要時間：16秒

登はん者と補助者が2人1組で協力し、器材を使わずに塔上から垂下されたロープを15メートル登はんする訓練です。



連携

障害突破

標準所要時間：2分37秒

5人1組(補助者を含む)で4人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作により5つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練です。



訓練

技術訓練

定められた手法、器材に縛られることなく、創意と工夫のもとでより安全で的確、迅速な訓練を発表する訓練です。